

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第586号（平成27年7月8日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

★平成27年度「モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の募集について

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 循環資源利用促進部会の開催について
2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 港湾空港技術研究所、次期中長期展望（案）をまとめ
2. 千葉県、千葉港の長期構想検討を開始
3. 横須賀港で港湾計画の見直し作業。旅客船ふ頭や臨港道路など
4. 環境省が平成26年度における家電リサイクル実績をまとめ

=====

《今週の報道発表》

平成27年度「モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の募集について（お知らせ）

詳細については、下記にてご確認ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000213.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000213.html)

【国土交通省 H27年7月6日】

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 循環資源利用促進部会の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成27年7月10日（金）

15：30～17：00

場 所：みなと総研3階会議室

2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成 27 年 7 月 28 日（火）

13：30～14：30 WG②、⑥

14：30～15：30 WG③・④

15：30～16：30 WG①

場 所：みなと総研 3 階会議室

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

**1. 港湾空港技術研究所、次期中長期展望（案）をまとめ**

国立研究開発法人港湾空港技術研究所は、今後 10 年程度の研究戦略となる次期中長期展望（案）をまとめた。港空研は 28 年度から海技研、電子航法研と統合になり、「海上・港湾・航空技術研究所（仮称）」としてスタートすることになっており、同研究所では 7 カ年を期間とする中長期計画を打ち出して、その目標実現に向け研究開発を進めていくこととされている。

港空研では同計画に先立って 10 カ年の研究展望を戦略的にまとめることで、港空研として重点的な取組の方向性を事前に示し、各方面の意見も参考にしつつ港空研の果たすべき役割を担っていく。港空研では 6 月 26 日に開かれた港湾空港技術研究所評議委員会（議長・堀川清司東京大学名誉教授）の場に同中長期計画案を提示し、意見を聞いた。

次期中長期展望におけるインフラの維持管理、有効利用の研究テーマでは、▽建設副産物の有効利用、処理技術に関する研究、▽海面廃棄物処分場の土地利用に関する研究、などが挙げている。

【港湾空港タイムス】

-----

**2. 千葉県、千葉港の長期構想検討を開始**

千葉県は千葉県地方港湾審議会に千葉港長期構想専門部会を設置し、6 月に第 1 回部会を開催した。28 年度中に港湾計画改訂をまとめる方針。

千葉港の港湾計画は改訂から 13 年が経過している。社会情勢を初め、県内立地企業や企業活動に伴う貨物動向など、千葉港を取り巻く情勢が変化していることから見直す。

第 1 回専門部会では今後の計画検討に向け、▽物流産業機能として自動車や RORO 貨物取扱増加に対応した港湾施設の強化、▽人流・交流機能として観光交流の促進、▽環境機能では東京湾奥部の干潟、浅場等貴重な自然環境の保全と再生などのテーマを議論した。

【港湾空港タイムス】

-----

### 3. 横須賀港で港湾計画の見直し作業。旅客船ふ頭や臨港道路など

横須賀市は横須賀港の見直し作業を進める。横須賀港の現行の港湾計画は平成 17 年 3 月に改訂しており 10 年が経過している。港湾物流・人流や社会を巡る情勢も変化していることから、関連調査を始め、平成 33 年に改訂する。

改訂に向けた基本調査として昨年度に横須賀港の現況分析、物流や利用、環境に係る検討を行い、変更すべき箇所を抽出した。

【港湾空港タイムス】

### 4. 環境省が平成 26 年度における家電リサイクル実績をまとめ

環境省は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）に基づき、平成 26 年度における家電リサイクル実績を公表した。

それによると全国の指定引取場所において引き取られた廃家電 4 品目は、約 1 0 8 6 万台（前年度比約 14・7%減）。再商品化等の状況については、エアコン 92%（法定基準 70%）、ブラウン管式テレビ 75%（同 55%）、液晶・プラズマテレビ 89%（同 50%）、電気冷蔵庫・電気冷凍庫 80%（同 60%）、電気洗濯機・衣類乾燥機 88%（同 65%）。前年度から、エアコンは 1 ポイント増、ブラウン管式テレビは 4 ポイント減。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####